

▶ 聖フランシスコ・ザビエル像  
【大分市 / 遊歩公園】

## 聖フランシスコ・ザビエル

Francisco de Xavier  
1506 - 1552

- 1506年 スペインバスク地方の貴族(ハビエル城)の家柄に生まれ、19歳でパリ大学に留学。
- 1534年 モンマルトルでのイエズス会創立に参加。
- 1541年 リスボンを出帆しインドのゴア等で布教。
- 1549年 鹿児島市に上陸、日本に初めてキリスト教を伝えた。
- 1551年 大友宗麟に招かれ、キリスト教を説く。
- 1552年 中国での布教に出発し、自身の代わりにポルトガル人のガーゴ神父を日本に派遣。同年広東省で46年の生涯を閉じる。日本に入ったガーゴ神父は府内でルイス・デ・アルメイダと共に活動する。



アントネッロの音楽劇をより深く楽しむために…

# 誌面レクチャー

### POINT. 01

500年前の大航海時代、日本の戦国時代に生きたザビエル、大友宗麟、アルメイダのドラマティックな人生を見ていきましょう！

### POINT. 02

3人の人生がどのように交差していくのか？ それによってどんな歴史が展開していくのかに注目です。

## 大友義鎮 (宗麟) ドン・フランシスコ

Yoshishige / Sorin Otomo  
Don Francisco  
1530 - 1587

▶ 大友宗麟公像  
【大分市 / JR大分駅北口】

- 1530年 豊後国守護大名・大友義鑑の嫡男として府内で生誕。
- 1550年 異母弟を担いだ家臣の反乱により、弟及び父・義鑑が死去。20歳で家督を継ぎ大友家21代当主となる。
- 1551年 フランシスコ・ザビエルを招きその教えに耳を傾ける。キリスト教の布教を許可。
- 1553年 府内・大友館の近くに教会がつくられる。
- 1555年 アルメイダの病院開設を許可し、活動を支援。
- 1559年 北部九州6カ国(豊後、豊前、筑前、筑後、肥前、肥後)の守護となる。
- 1578年 48歳で洗礼を受ける。ザビエルの名前に由来し、洗礼名はフランシスコ。同年薩摩の島津軍と戦うため日向(延岡の務志賀)に出陣するも大敗。この時、アルメイダも宗麟に同行。
- 1582年 伊東マンショから天正遣欧少年使節を派遣。
- 1585年 少年使節、ローマ法王に謁見。
- 1587年 津久見で57年の生涯を閉じる。宗麟の没後、豊臣秀吉がキリスト教宣教師追放令を出す。
- 1590年 伊東マンショら使節が帰国。



## ルイス・デ・アルメイダ

Luís de Almeida  
1525 - 1583

- 1525年 ポルトガル・リスボンでユダヤ系貿易商の家に生まれる。
- 1546年 リスボンの大学で外科医術を学び免許を授与される。
- 1548年 インドのゴアに渡り貿易商として大きな富を築く。
- 1552年 初めて日本に入り山口を訪れる。
- 1555年 30歳の時に2度目の来日。日本でイエズス会に入り、府内のガーゴ神父のもとで活動。貧しさで捨てられる乳児のため育児院をつくる。
- 1557年 貿易商として築いた私財を投じ、宗麟に願い出て府内病院を開設(外科、内科、ハンセン病科)。アルメイダは外科治療にあたった。入院患者は50名程度を受け入れ、外来診療は30～100名に対応した。京都、堺からも治療を受けに来た。
- 1558年 臨床医学教育を行う。
- 1559年 病院を増改築。入院は100名程度を受け入れ可能に。外来は200名を超すこともあった。
- 1560年 イエズス会本部から、聖職者は人間の生命に関わる医療施術に関わってはいけない趣旨の「聖職者の医療禁令」の通知が届き、アルメイダは府内病院での医療行為から手を引く。
- 1561年 36歳で豊後を出て、以後22年間、開拓伝道士として九州各地(平戸、薩摩、島原、五島、長崎、天草等)で布教を行う。この間、たびたび府内を訪れる。
- 1578年 宗麟の日向遠征に同行。
- 1579年頃 神父に叙階。
- 1581年 天草全島の教会責任者となる。
- 1583年 天草にて58年の生涯を閉じる。宣教師のルイス・フロイスは著書の『日本史』においてアルメイダの博愛精神と功績を讃え、「アルメイダの名は日本から消え去ることはない」と追悼した。

▶ アルメイダは外科手術を病院のベランダで行いました。手術には外光の明るさを必要としていたことと、外科手術を公開し優れた医療技術であることを世間に周知するねらいと考えられます。



◀ ルイス・デ・アルメイダ像

### POINT. 04

#### 世界と日本の動き

- 1498年 ヴァスコ・ダ・ガマがインド航路を発見
- 1500年前後 レオナルド・ダ・ヴィンチが人体を解剖 世界初の解剖図を記す
- 1517年 ルターの宗教改革
- 1519～21年 マゼランの世界周航
- 1543年 ポルトガル人が種子島に漂着 日本に鉄砲伝来
- 1553～64年 戦国時代最大の激戦のひとつ 川中島の戦い(武田信玄 vs 上杉謙信)
- 1560年 桶狭間の戦いで織田信長が勢力拡大
- 1573年 室町幕府滅亡
- 1582年 本能寺の変(信長死去)
- 1587年 豊臣秀吉 九州平定



▶ 西洋医術発祥記念像  
【大分市 / 遊歩公園】

## 日本初の西洋式病院だった「府内病院」

宗麟が許可し、アルメイダが開設した「府内病院」は、日本初の西洋式病院でした。日本ではそれまで漢方療法が行われていましたが、アルメイダにより、西洋医学に基づく外科的施術(切開、切除や摘出、止血、縫合等)が初めて行われ、刀傷、銃創などの外傷、腫物、慢性化膿症等の治療がなされました。病院では「ミゼリコルディア(慈悲の組)」と呼ばれる人々が無償で病院の看護などにあたりました。場所は、現在の大分市顕徳町あたりと推定されています。

▼ 府内病院模型



▼ 2021年に iichiko 音の泉ホールで開催されたアントネッロ「天正遣欧少年使節の物語」より



### POINT. 03

コンサートは、アルメイダの物語が、古楽器の演奏とともに歌と朗読で綴られる音楽劇です。歌手の皆さんが、時にコミカルに演じる場面も登場する、笑いあり、涙ありの見応えあるステージにご期待ください！

### 古楽器の音色が素敵！

演奏に使われるのは16世紀にも奏でられていた古楽器。ライブであまり聴くことのできないアンティークな音色にうっとり♡

### 大分だけのオリジナル台本！

今回は、生誕500年を迎えたアルメイダにゆかりある、大分だけのオリジナル台本をアントネッロが特別に企画！大分でお目にかかれたいコンサートです。